



2013 年度 おおあさ自由学校 宇宙校（横浜）講座

— NPO法人「にっぽん文明研究所」代表 奈良 泰秀 講演会のお知らせ —

「おおあさ自由学校・宇宙校」で講話をします。おおあさ自由学校は「麻（ヘンプ）」をテーマに、宇宙校での講演会や麻の実料理食事会などのほか、野外に出て麻畑の見学ツアー、収穫作業体験などのオリエンテーションを通して麻の有用性と活用を伝える活動をしています。麻は太古より、衣・食・住に恵みを与えた神聖なもの。古来、日本人の麻に対しての想い・精神性に就いてお話しします。

◆ 「古神道と麻の信仰」 ◆

講演：奈良 泰秀

（神職、NPO法人「にっぽん文明研究所」代表）



巷間、麻と神道との関わりを謂われているのに、具体的なことは見えてこない。

神道の神を祀る神事は、神社や神棚に鎮まる神の前で行なう「鎮座式」と、臨時に神籬に神の降臨を願って行なう「神籬式」がある。どちらも神事の初めに供物の神饌・玉串、儀式を行なう神職や参列者を祓い清める。神籬式では神の降臨される神籬を当然最初に祓う。この祓い清めに使われる神具は、木の棒や榊の枝に紙垂という紙片と麻を結んでつくられた「大麻」といわれるもの。

大麻は“祓え”に絶対欠かせない。祓えは“日本神道の専売特許”、といつも云っている。他の宗教には見られない神道独自の儀式だ。神道の根幹を為す祓えも、麻が無ければ成立しない。

また、神道祭祀の原点は、神話の時代に遡る。天の岩窟に隠れられた天照大御神の出現を乞い願う祭りは、現在の神籬式神事に繋がる。ここで麻は、尊い御幣として扱われている。そのときに巫女でシャーマンの天宇受賣命は麻を入れる桶を伏せ、反閤という足法で舞いトランス状態になる。神話の時代から現代に到るまで、麻は日本人の精神により沿って共存してきた歴史を知ろう。

○ 日時：平成25年 3月13日(水) 2:00p.m～4:00p.m

○ 会場：宇宙食堂(〒241-0821 横浜市旭区二俣川1-43-28アルコト二俣川5F二俣川駅北口 徒歩3分)

○ 入場料：単発(スポット)参加 価格 ¥4,000円

《お申し込み 及び お問合せ先》



※Eメールのみの受付となります。

①お名前、②ご住所、③電話番号、④メールアドレス、をご記入のうえ、下記宛先までお申し込みください。

宛先：uchushokudo@yahoo.co.jp

担当：「おおあさ自由学校・宇宙校」あて

詳しいアクセス方法はこちら ↓

カフェレストラン 宇宙☆食堂ブログ

<http://ameblo.jp/uchushokudo/theme-10056290290.html>

会場地図

